

# KANSAI GAIDAI UNIVERSITY

叙述性主語文の成立条件：  
接続詞を伴わない条件文を中心に

メタデータ	言語: jpn 出版者: 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部 公開日: 2023-03-24 キーワード (Ja): 条件文, 接続詞削除テスト, 叙述性主語文, 指称性主語文, 述詞性主語文 キーワード (En): 作成者: 吉田, 泰謙 メールアドレス: 所属: 関西外国語大学
URL	<a href="https://doi.org/10.18956/00008074">https://doi.org/10.18956/00008074</a>

## 叙述性主語文の成立条件

— 接続詞を伴わない条件文を中心に —

吉 田 泰 謙

### 要 旨

本稿では、中国語の〈条件/仮定—結果〉関係を表す条件文から“如果～就…”[もし～ならば…]などの接続詞(“关联词语”、主に接続詞と副詞)を削除するテストを行い、その結果を基に、もともと複文構造をとっていた条件文が「叙述性主語文」になり得る(またはなり得ない)条件を記述する。本研究の主たる目的は、複文構造の条件文から叙述性主語文が成立するための必要条件を網羅的に記述することではなく、接続詞や副詞などの接続詞が表層構造上に現れない条件文がすべて叙述性主語文として解釈されるわけではない点を実証的な分析を通して明らかにすることにある。

キーワード：条件文、接続詞削除テスト、叙述性主語文、指称性主語文、述詞性主語文

### 1. はじめに

#### 1.1 叙述性主語文とは

本稿で取り上げる「叙述性主語文」とは、(1)に示すように「叙述性主語」(“陈述性主语”)が文の主語に立つタイプの文を指す。

- (1) a. 大一点儿 [叙述性主語] 好看                    [少し大きければ見栄えがよい]  
      b. 天天练 [叙述性主語] 才学得会                [毎日訓練してはじめてマスターできる]

(下線および括弧内の表記筆者；朱徳熙著 杉村、木村訳1995: 130)

そもそも叙述性主語は「述詞性主語」(“谓词性主语”)の下位分類に属する文法カテゴリーで、その上位カテゴリーにあたる述詞性主語は、(2)の文法現象を指す。(3)はその用例である。

#### (2) 述詞性主語

- ・述詞性成分(動詞(句)、形容詞(句)、主述構造)が、いわゆる名詞化することなく、

そのままの形式で直接、文の主語になることができる。こうした文成分を「述詞性主語」と呼ぶ。<sup>1)</sup>

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| (3) a. <u>学习</u> [動詞] 很重要。   | [ <u>勉強 (すること)</u> は重要だ]     |
| b. <u>艰苦</u> [形容詞] 可以锻炼人。    | [ <u>苦難 (であること)</u> は人を鍛える]  |
| c. <u>洗衣服</u> [動詞句] 非常方便。    | [ <u>服を洗うの</u> に大変便利だ]       |
| d. <u>厚一点</u> [形容詞句] 更好。     | [ <u>もう少し厚ければ</u> さらによい]     |
| e. <u>我们明天去</u> [主述構造] 比较合适。 | [ <u>われわれは明日行くほう</u> が具合がよい] |

(下線、括弧内の表記ならびに日本語訳筆者；李德津、程美珍編著1988: 235-236)

朱德熙 (1982) は述詞性主語に対し (4) に示す分類を行ったうえで、それぞれの意味的、文法的特徴を (5) と (6) のように述べている。

- (4)
- |                 |   |  |
|-----------------|---|--|
| 述詞性主語 (“谓词性主語”) | } | 指称性主語 (“指称性主語”)<br>叙述性主語 (“陈述性主語”) <sup>2)</sup> |
|-----------------|---|--|

(5) 指称性主語

- ・指称性主語となる述詞性成分自体は依然動作、行為、属性などを表すが、述語との関連で見るとそれらの動作、行為、属性などは事物化している。即ち、指称 (“指称”) することができる対象に変化している。
- ・指称性主語となる述詞性成分は “什么” [なに] を用いて代替することが可能である。

- a. 干净最重要 [清潔さが一番大事だ]  
 → 什么最重要? [なにが一番重要か]
- b. 教书不容易 [勉強を教えることは容易ではない]  
 → 什么不容易? [なにが容易ではないか]

(6) 叙述性主語

- ・指称性主語とは異なり、叙述性主語は事物化していない。叙述性主語となる述詞性成分は指称の対象ではなく、動作・行為・属性・状態などに対する叙述 (“陈述”) である。
- ・叙述性主語となる述詞性成分は “怎么样” [どのようなか] を用いて代替するしかない。

- a. 大一点儿好看 [少し大きければ見栄えがよい] (再掲 = (1a))  
 → 怎么样好看? [どうであるのが見栄えがよいか]
- b. 天天练才学得会 [毎日訓練してはじめてマスターできる] (再掲 = (1b))  
 → 怎么样才学得会? [どうすることではじめてマスターできるのか]

(下線筆者；朱德熙1982: 101-102；朱德熙著 杉村、木村訳1995: 130)

## 1.2 叙述性主語文の形成過程

吉田 (2007, 2016) は、1.1節で紹介した述詞性主語に対する下位区分とこれに関連する先行研究を踏まえたうえで、叙述性主語文の形成過程に関する問題について論じている。具体的には、中国語主題構文の文法化モデル (袁毓林2002) を援用しつつ、(7) に示すように、もともと「節 + 節」の構造で〈条件 / 假定—結果〉の意味関係を表していた (7b) の複文 (条件文) が、(7c) → (7d) → (7e) の過程を経て文法化が進み、最終的に (7a) の叙述性主語文に変化していった可能性があることを指摘している。

- (7) a. 天天练才学得会 (再掲 = (1b)) ……「叙述性主語文」  
 [毎日訓練してはじめてマスターできる]
- b. (你) 只有天天练, 才学得会 ……「複文 (条件文)」  
 [(きみにとって) 毎日訓練することのみが、マスターできる唯一の方法だ]  
 【「節 + 節」の構造と接続詞“只有～(才…)” [～してこそはじめて (…だ)] を用いて前節 (条件節) と後節 (主節) との間の意味関係〈条件 / 假定—結果〉を表す】  
 → c. (只有) 天天练呢, 才学得会  
 [毎日訓練すること (のみ) がね、マスターできる (唯一の) 方法だ (よ)]  
 【語気助詞“呢”を用いて「叙述性主語 (/ 条件節)」を標示する】  
 → d. 天天练 (呢), 才学得会  
 [毎日訓練して (ね)、はじめてマスターできる (よ)]  
 【ポーズ (“停顿”) を用いて「叙述性主語 (/ 条件節)」を標示する】  
 → e. 天天练 (,) 才学得会 ……「単文形態の『緊縮文』 (“紧缩句”) <sup>3)</sup>」  
 [毎日訓練して (,) はじめてマスターできる]  
 【語順のみ (ポーズなし) で「叙述性主語」を標示する】

### 1.3 問題提起と本稿の目的

1.2節で提示した叙述性主語文に関する形成過程（文法化モデル）について、その存在を認められた場合、次に検討しなければならない問題は、複文構造をとるすべての条件文がこの文法化モデルによって叙述性主語文へと変化し得るのかという点である。そこで、本稿は複文構造をとる条件文に対し（8）に示す「接続詞」削除テスト（一般に複文形式「節＋節」であることを示す「接続詞」（“关联词语”、通常複文の前節内に現れる「接続詞」と後節内に現れる「副詞」とが呼応する形で用いられる）を削除するテスト）を行い、その結果を基に分析と考察を進め、上記の問題に対する結論を導き出したい。

(8) a. (你) 只有天天练, 才学得会 (再掲 = (7b)) ……「複文 (条件文)」  
 [(きみにとって) 毎日訓練することのみが、マスターできる唯一の方法だ]

【(8a) から接続詞“只有～才…”（接続詞と副詞の両方）を削除した場合】

→ a'. \*(你) 天天练学得会 ……非文

【(8a) から接続詞の一部（接続詞“只有”のみ）を削除した場合】

→ a''. (你) 天天练 [叙述性主語] 学得会 ……「叙述性主語文」

なお、本稿が考察対象として取り上げる条件文の範囲は、(9) に示す邢福义 (2001: 38-47) による複文の分類に基づき、“因果类复句”（因果複文）の中の“假设句”（假定文）と“条件句”（条件文）に限定する（以下、まとめて「条件文」と呼ぶ）。そのうえで、邢福义 (2001: 83-114) から抽出した103例の条件文に対し「接続詞」削除テストを行う。

(9) “复句”（複文）…………… { “因果类复句” …………… { “因果句”（因果文）  
 （因果複文） “推断句”（推断文）  
 “假设句”（假定文）  
 “并列类复句” ……（略） “条件句”（条件文）  
 （並列複文） “目的句”（目的文）  
 “转折类复句” ……（略）  
 （逆接複文（讓歩複文を含む））

次節以降、接続詞削除テストの結果を示しながらその分析を行うが、本稿における考察の主たる目的は、〈条件 / 假定—結果〉の意味関係を表す条件文（複文）が叙述性主語文になり得

る（またはなり得ない）条件をすべて網羅的に記述することではなく、表層構造上に接続詞が現れない条件文のすべてが叙述性主語文になり得るわけではない点を実証的な分析を通して明らかにすることにある。

## 2. 接続詞削除テストの結果と分析

### 2.1 叙述性主語文が成立しないケース

はじめに、条件文から接続詞を削除した結果、叙述性主語文が成立しなかったケースについて見ていく。このケースに該当する条件文は主に次の2つのタイプに分けることができる。

(10) 条件文の前節（従属節）の主語と後節（主節）の主語が同一の指示対象でないタイプ

(11) 条件文の前後節の主語は同一の対象を指示しているが、後節内の述語が動作動詞からなるタイプ

以下、それぞれのタイプについて考察を進める。

#### 2.1.1 前後節の主語が同一の指示対象でないタイプ

(12) は前後節の主語が同一の指示対象でないタイプに属する条件文で、叙述性主語文が成立しなかったケースとなる。

(12) a. 如果她 i 向我要求婚姻, 我 j 就决不会答应她。(邢福义2001: 109)

[彼女がもし私に結婚してほしいとって来たとしても、(私は) 決して応じることはないだろう]<sup>4)</sup>

→ a'. 她 i 向我要求婚姻, 我 j (就) 决不会答应她。<sup>5)</sup>

b. 只有徐副书记 i 来了, 他们 j 才在一起说说笑笑。(邢福义2001: 95)

[徐副书记がお見えにならなければ、彼らが一緒になって談笑することはない]

→ b'. 徐副书记 i 来了, 他们 j 才在一起说说笑笑。

c. 假使你 i 一个人害怕, 我 j 送你回去。(邢福义2001: 84)

[きみが一人では怖いというなら、私がきみと一緒に帰ってあげよう]

→ c'. 你 i 一个人害怕, 我 j 送你回去。

d. 如果我们的领导人 i 没有这种大无畏的胆量, 中国革命 j 是很难取得成功的。

(邢福义2001: 85)

[もしわれわれの指導者に何ものをも恐れぬ勇気がなかったならば、中国の革命が成功することは難しかっただろう]

→ d'. 我们的领导人 i 没有这种大无畏的胆量, 中国革命 j 是很难取得成功的。

e. 要打官司的话, 板子 j 该打在你身上。(邢福义2001: 84)

[仮に訴訟を起こしたとしても、きみの体に〈責め道具〉が打たれることは間違いなからう / 敗訴するのはきっときみであろう]

→ e'. 打官司, 板子 j 该打在你身上。

f. 如果能够真实、全面、深刻地把群众情绪反映出来, 作用 j 就很大。(邢福义2001: 85)

[民衆の気持ちをありのままに、すべてきちんと報告すれば、(その) 効果は大きい]

→ f'. 能够真实、全面、深刻地把群众情绪反映出来, 作用 j (就) 很大。

(下線、太字、括弧、ゼロ記号など筆者、以下同様)

(12a-f) の条件文は、いずれもその前節と後節において主語となる成分を確認することができるが ((12e, f) の前節の主語はゼロ形式)、前後節の主語が指示するヒト、モノなどは同一でないことがわかる。このタイプの条件文は、接続詞削除後、文そのもの ((12a'-f')) の適格性に問題はないものの、依然「節 + 節」の複文構造で〈条件 / 仮定—結果〉の意味関係を表しており、いずれも1.1節の (6) で見た叙述性主語文として捉えることはできない。なお、このタイプの条件文に関しては、ゼロ形式の主語を含むものを除くと、その前節と後節のそれぞれが「単文」としての独立性も比較的高いことが窺える。

### 2.1.2 前後節の主語は同一の対象を指示するが後節内の述語が動作動詞からなるタイプ

次の (13) は前後節の主語は同一の対象を指示するものの、後節内の述語が動作動詞からなる条件文で、同様に叙述性主語文が成立しなかったタイプとなる。

(13) a. 如果他 i 有这本书, 他 i 一定借给你 (邢福义2001: 111)

[彼がその本を持っているのなら、(彼は) 必ずきみに貸してくれるだろう]

→ a'. 他 i 有这本书, 他 i 一定借给你

b. 只有赶不上火车, 我们<sub>i</sub>才改乘轮船。(邢福义2001: 94)

[汽車に間に合わなかった場合だけ、(われわれは)汽船に(変更して)乗り換えよう]  
→ b'. Ø<sub>i</sub>赶不上火车, 我们<sub>i</sub>(才)改乘轮船。

c. 如果我<sub>i</sub>不外出, 我<sub>i</sub>就陪你玩几天; 如果我<sub>i</sub>外出, 我<sub>i</sub>就请小张接待你。

(邢福义2001: 111)

[もし(私に)仕事の出張がなければ、私が数日間(きみに)付き合っあげられる(数日間きみに付き合っ一緒に遊べる)が、もし(私に)出張が入ってしまった場合は、(私から)張さんにきみへのもてなしをお願いする]  
→ c'. 我<sub>i</sub>不外出, Ø<sub>i</sub>(就)陪你玩几天; 我<sub>i</sub>外出, Ø<sub>i</sub>(就)请小张接待你。

(13a-c)の条件文は、いずれもその前節と後節の主語が同一のヒトを指示している。接続詞削除後の文((13a'-c'))についても、その適格性に何ら問題はないものの、2.1.1節で取り上げたタイプと同様、叙述性主語文として捉えることはできない。

ここで、各文の後節内の述語に着目すると、いずれも“借”[貸す]((13a))、“改乘”[乗り換える]((13b))、“玩儿”[遊ぶ]((13c))、“接待”[応接する]((13c))などのいわゆる「動作動詞」がその中心的成分としての役割を担っていることがわかる。実は、いま問題にしている叙述性主語文(と指称性主語文)の上位カテゴリーにあたる述詞性主語文(1.1節(24)を参照)については、関連する先行研究の中で、その述語の特徴として一般に「説明」、「論評」、「評価」などの意味を表す動詞あるいは形容詞(いわゆる「非動作動詞」)がその中心的成分を担うということが指摘されている。<sup>6)</sup>このことから、そもそも(13)のように後節内の述語の中心的成分が「動作動詞」からなるタイプの条件文に関しては、たとえ前後節の主語が同一の対象を指示する場合であっても、接続詞削除後に叙述性主語文(またその上位カテゴリーにあたる述詞性主語文)が成立することは通常あり得ないということが言えよう。

## 2.2 叙述性主語文が成立するケース

次に、条件文から接続詞を削除した結果、叙述性主語文が成立したケースについて見ていく。このケースに該当する条件文は主に次の3つのタイプに分けることができる。

(14) 条件文の後節内に用いられる副詞(接続詞の一部)、または主語と述語の間(条件文の前節と後節の間)のポーズ(“停顿”)の有無にかかわらず、叙述性主語文として成立するタイプ

(15) 条件文の後節内に用いられる副詞(接続詞の一部)のみを残しておく、または主語と述



語の間（条件文の前節と後節の間）にポーズを置くことによって、叙述性主語文としての解釈が成立するタイプ

- (16) “那” [それでは、それなら]、“那么” [～ならば、それでは] などの代詞が条件文の後節の主語に立つタイプ

以下、それぞれのタイプについて考察を進める。

### 2.2.1 副詞またはポーズの有無にかかわらず成立するタイプ

(17) の条件文は、接続詞削除後、叙述性主語文として成立するタイプとなる（疑問形式の(17b')を除き、(17a', c')の主語はどちらも“怎么样” [どのようなか] を用いて代替できる。1.1節 (6) を参照）。

- (17) a. 如果没有丰富的知识，就不可能有丰富的联想。（邢福义2001: 86）

[豊富な知識がなければ、豊かな連想もあり得ない]

→ a'. 没有丰富的知识 [叙述性主語] (, 就) 不可能有丰富的联想。

- b. 阿俊，如果让马永仄来当组长，有什么不好？（邢福义2001: 87）

[阿俊 [人名] よ、もし馬永仄 [人名] にグループ長をやらせるとしたならば、何か不都合なことでもあるだろうか]

→ b'. 阿俊，让马永仄来当组长 [叙述性主語] (,) 有什么不好？

- c. 只有这样，才能使我们具有对中国社会问题的最基础的知识。（邢福义2001: 96）

[そうすること以外で、われわれが中国の社会問題に関する最も基本的な知識を得ることはあり得ない]

→ c'. 这样 [叙述性主語] (, 才) 能使我们具有对中国社会问题的最基础的知识。

(17a' -c') はいずれも接続詞（即ち文法標識）やポーズなどに頼ることなく、いわば「意合法」（“意合法”、parataxis<sup>7)</sup>）によって、もとの条件文の前節と後節の間にあった論理的な意味関係〈条件/仮定—結果〉を単文の形式（「緊縮文」）で表している。(17c')の主語に立つ“这样” [このような、こういうふうにする] については、それ自体が「述詞性代詞」であり（つまり、ここでは述詞性主語を担っている。1.1節 (24) を参照）、その前文で述べられている事態（叙述性成分）を指していると考えるのがごく自然な解釈となる。従って、(17c') も叙述性主語文として捉えることができる。

## 2.2.2 副詞またはポーズの有無によって影響を受けるタイプ

(18) は一定の条件の下で、叙述性主語文としての解釈が認められるタイプとなる。

(18) a. 只要你去，就能解决问题。(邢福义2001: 101)

[きみが行きさえすれば、その問題を解決することができる]

→ a'. ? 你去能解决问题。

→ a''. 你去 [叙述性主語]，(就)能解决问题。

b. 只有坦白交代，才能考虑从宽处理。(邢福义2001: 97)

[素直に白状することのみが、唯一寛大な処分を受けることに繋がる]

→ b'. ? 坦白交代能考虑从宽处理。

→ b''. 坦白交代 [叙述性主語]，(才)能考虑从宽处理。

c. 只有用这样实事求是的态度，去进行独立的科学研究及其他一切工作，才有成功的希望。

(邢福义2001: 95)

[事实に基づき真実を追求し問題解決を図るといった姿勢で、独立性が担保された科学研究を行い、またその他すべての業務にあたることが、唯一成功への希望が持てる手だてである]

→ c'. ? 用这样实事求是的态度，去进行独立的科学研究及其他一切工作有成功的希望。

→ c''. 用这样实事求是的态度，去进行独立的科学研究及其他一切工作 [叙述性主語]，

才有成功的希望。

(18) に示されるように、これらの条件文は前節で用いられている“只要”、“只有”などの接続詞（接続詞の一部）のみを削除した場合（(18a' - c'））では叙述性主語文として成立するものの、後節の副詞（接続詞の一部）も併せて削除した場合（(18c'））や主語と述語の間（条件文の前節と後節の間）にポーズを置かない場合（(18a', b'））ではその容認度がいずれも低くなる。つまり、副詞またはポーズの有無によって影響を受けるタイプとなる。

上掲のケースのように、条件文の後節内に用いられる副詞を残しておく、あるいは主語と述語の間にポーズを置くことによって、即ち複文構造がもつ要素の一部を残しておくことによって叙述性主語文としての容認度が高くなるという点においては、(18a' - c'）は2.2.1節で取り上げたタイプ（(17a' - c'））より文法化が進んでいないという見方もできる。

### 2.2.3 “那”、“那么”が後節の主語に立つタイプ

次の(19)はいずれも“那”、“那么”が後節の主語に立つ条件文だが、叙述性主語文が成立する条件としては、2.2.1節と2.2.2節で取り上げた両方のタイプが含まれている。

(19) a. 设若单单是有阳光, 那也算不了出奇。(邢福义2001: 84)

[ただ日光を取り入れただけであれば、さほど珍しいことでもない]

→ a'. 单单是有阳光, 那 (也) 算不了出奇。

→ a''. 单单是有阳光 [叙述性主語] (也) 算不了出奇。

b. 要是大嫂当了队长, 把花洞收拾起来, 那该多好! (邢福义2001: 87)

[ねえさん [長兄の妻などに対する呼称] がリーダーになって“花洞”を整理整頓することになれば、どんなにいいであろうか]

→ b'. 大嫂当了队长, 把花洞收拾起来, 那该多好!

→ b''. 大嫂当了队长, 把花洞收拾起来 [叙述性主語], 该多好!

→ b'''.<sup>?</sup> 大嫂当了队长把花洞收拾起来该多好!

c. 如果生活失去了令人向往的前景和理想,

那么就不会召唤人们紧张地全力以赴地去工作。(邢福义2001: 85)

[生活を営む中で人々が憧れを抱くような将来像や理想を失ってしまうと、緊張感をもって仕事に全力を尽くすよう人々に対して呼びかけることが難しくなる]

→ c'. 生活失去了令人向往的前景和理想,

那么 (就) 不会召唤人们紧张地全力以赴地去工作。

→ c''. 生活失去了令人向往的前景和理想 [叙述性主語],

(就) 不会召唤人们紧张地全力以赴地去工作。

→ c'''.<sup>?</sup> 生活失去了令人向往的前景和理想不会召唤人们紧张地全力以赴地去工作。

(19a, b) では代詞“那” [それでは、それなら] が、(19c) では代詞“那么” [～ならば、それでは] が各後節の主語を担っている。ここでの“那”、“那么”は「結果を表す節」を導き「接続の機能を果たす。‘那么’に同じ」(呂淑湘主編 牛島、菱沼監訳2003: 275)<sup>8)</sup>とあるように、実質的に述詞性代詞“这样” [このような、こういうふうにする]、“那样” [そのような、そういうふうにする] と同じ役割を果たしていると言える。事実、(19a-c) の“那/那么”はいずれも“这样/那样”に置き換えることが可能であり<sup>9)</sup>、“那/那么”を条件文の前節(接続詞を含めない)に置き換えた形となる(19a'-c'')もすべて叙述性主語文として成立してい

る。なお、(19) のタイプは、(19a' -c') に示されるように、副詞またはポーズの有無によって受ける影響（その有無によって叙述性主語文としての解釈が与えられるか否か）は一様でなく、例えば、(19a') のように副詞やポーズがなくても叙述性主語文として成立するケースもあれば、(19b'', c'') のように主語と述語の間にポーズを置かないと文自体の容認度が低くなってしまいうケースも含まれる。

### 3. 指称性主語文が成立するケース

ここまで、条件文から接続詞を削除した後に叙述性主語文が成立するタイプとしないタイプについてそれぞれ論じてきたが、実は、次の (20) に示すように、接続詞削除後に指称性主語文 (1.1節 (5) を参照)<sup>10)</sup> としての解釈が成立したケースも観察された。

(20) a. 夫妻俩要不吵不闹呀，就像炒菜没放盐！（邢福义2001: 87）

[夫婦喧嘩をまったくしないとなると、まるで油で炒めた料理に塩が入っていないのと同じである]

→ a'. 夫妻俩要不吵不闹 [指称性主語]，（就）像炒菜没放盐！ ……「指称性主語文」

→ a''. 夫妻俩要不吵不闹 [指称性主語] 像炒菜没放盐…… ……同上

[夫婦喧嘩をまったくしないというのはまるで油で炒めた料理に塩が入っていないのと同じである]

→ 什么（就）像炒菜没放盐？【(20a', a'') 下線部（主語）を“什么”[なに]で代替できる】

b. 如果一辈子都不同工人农民见面，这就很不好。（邢福义2001: 88）

[もし労働者や農民たちといつまでも向き合わないとなると、それはそれで大変よろしくないことだ]

→ b'. 一辈子都不同工人农民见面 [指称性主語]，（就）很不好。 ……「指称性主語文」

→ b''. 一辈子都不同工人农民见面 [指称性主語] 很不好。 ……同上

[労働者や農民たちといつまでも向き合わないのは大変よろしくないことだ]

→ 什么（就）很不好？【同上】

このように指称性主語文が成立したケースは、今回考察対象とした条件文の中で占めた割合は極めて低く（2%未満）、(20a, b) の2例のみであったが、これは大変興味深い結果だと考える。なぜなら、条件文（複文）と叙述性主語文との間に連続性が存在する<sup>11)</sup> ことが観察されているのと同じように、叙述性主語文と指称性主語文との間にも連続性が存在する可能性を示唆

するものだからである。<sup>12)</sup> 実際、述詞性主語文に対する下位区分でその両方の解釈が可能となる用例、即ち同じ述詞性主語文で指称性主語文と叙述性主語文の両方の解釈が許される用例<sup>13)</sup>が存在していることから、その可能性は十分にあり得ることであり、(20) の分析で得られた結果もまたその傍証の1つとなり得ると思われる。

#### 4. おわりに

本稿では、邢福义 (2001) による複文の分類に基づき、〈条件 / 仮定—結果〉を表す複文 (条件文) の範囲を限定したうえで、考察対象となった103例の条件文に対し接続詞削除テストを行った。このテスト結果を基に、条件文から叙述性主語文に変化するタイプと変化しないタイプとに区分したうえで、どのような条件がその成否に影響を与えるのか、条件文から指称性主語文に変化するタイプも含め、分析と考察を行った。複文構造をとる条件文から接続詞を削除した後に叙述性主語文が成立する、あるいは成立しない条件をすべて網羅的に記述するまでは至らなかったものの、接続詞削除テストを通して、表層構造上に接続詞が現れない条件文のすべてが叙述性主語文に変化し得るわけではない点を実証的に明らかにすることができた。なお、2.2節で取り上げた叙述性主語文が成立するケースに関しては、主に副詞やポーズの有無などといった形式的な側面からの分析を中心に行ったが、意味的な側面からもそれが成立する要因を探っていく必要があると思われる。この点については今後の課題としたい。

\*本稿は吉田 (2007) の一部と吉田 (2022) に加筆修正を施したものである。また、本稿の研究成果については関西外国語大学「IRI 共同研究プロジェクト研究会」(2022年2月1日)ならびに「第8回 IRI 言語・文化研究フォーラム」(2022年2月16日)において発表している。

#### 注

- 1) 述詞性主語に関する先行研究については、主に赵元任 (1968)、朱德熙 (1982)、郑怀德 (1984)、范晓 (1992)、王莉莉 (2000)、吴继光 (2003)、张德岁、张国宪 (2013)、吉田 (2007, 2015, 2017b, 2019a) などが挙げられる。
- 2) 叙述性主語の文法的位置付けに関する議論、即ち叙述性主語を主語/主題として認定するか、またそれを含む文全体を主述文として認定するか否かについては、中国語学の領域において未だ一致した見解が得られていない。例えば、李大勤 (2003) などはこれを認めない立場をとっているが、本稿は朱德熙 (1982)、范晓 (1992)、吴继光 (2003) と同様、これを認める立場に立ったうえで議論を行う。

また、中国語の主語/主題の認定基準については、主に朱德熙（1982）、赵元任（1968）に従っている。なお、叙述性主語の文法的な位置付けに関する議論の詳細は、朱德熙（1982）、李大勤（2003）、吉田（2007, 2016, 2017a, 2019c）などを参照されたい。

- 3) 「緊縮文」（“紧缩句”）とは「単文の形式によりながら複文に相当する意味内容を表現する文」を指す。ここで言う「単文の形式」とは「緊縮文の述部に二つの述語があるが、ふつう一つまたは一対の関連作用をもつ語句を用いて（用いないものもある）、それらをひとまとまりに圧縮し、述語と述語の間には音声上のポーズはなく、文字表記上のコンマ“,”（逗号dòuhào）を用いて分けず、形式上、あたかも一つの単文の述部のようにみえるもの」を、「複文に相当する意味内容」とは「緊縮文の述部が必ず二つの『相対的に独立した』陳述内容を含み、これら二つの陳述内容の間に継起、条件、譲歩、因果などの関係が存在すること」を指す。例えば、“站住，不站住就开枪了。”[動くな、動くと撃つぞ。]、“看得清楚才能对得准。”[はっきり見えてこそはじめて照準を合わせることができる。]などがその用例である（刘月华等2001: 893/刘月华等著 相原監訳 片山等訳1991: 758-759）。
- 4) 日本語訳は筆者による。以下同じ。
- 5) 例文中の括弧内の語句は、それがあればより自然な文となるが、それを省略したとしても文の成立自体に特段の影響を及ぼさない（つまり、適格な文として成立する）ことを意味する。以下同じ。
- 6) 詳細は、范晓（1992）、郑怀德（1984）などを参照されたい。
- 7) ここで言う「意合法」は、主に袁毓林（2015）に従っている。中国語の「意合法」に関する議論については、袁毓林（2015）、杉村（2015）、张黎（2016）などを参照されたい。
- 8) 原文は次の通りである。“那”是“引进表后果的小句，起连接作用。同‘那么’”，“那么”是起“承接上文，引进表结果或判断的小句”（吕叔湘主编1980: 353, 358）。なお、この用法における“那”、“那么”は接続詞に分類するのが一般的である。
- 9) 本稿2.2.1節の（17c'）に対する分析を参照されたい。
- 10) 指称性主語文の文法的、意味的特徴に関する考察は、吴继光（2003）、吉田（2007, 2011）などを参照されたい。
- 11) この点に関する議論の詳細は、吉田（2007, 2016, 2019b）を参照されたい。
- 12) 指称性主語文を含めた、条件文と叙述性主語文の連続性に関する考察は、吉田（2007, 2019b, 2021）を参照されたい。
- 13) 詳細は王莉莉（2000）、吉田（2007, 2017a）による分析を参照されたい。

## 参考文献

[中国語]

范晓（1992）《VP主语句——兼论“N的V”作主语》，中国语文杂志社编《语法研究和探索（六）》：pp. 176-189。北京：语文出版社。

- 吉田泰謙（2007）《现代汉语谓词性主语句研究——指称性主语与陈述性主语的句法语义差别探析》，博士学位论文，北京：北京大学。
- 吉田泰謙（2011）《指称性主语的分类及其句法、语义特点——“自指性”主语与“转指性”主语探析》，《世界汉语教学》第2期：pp. 175-192。
- 吉田泰謙（2015）《现代汉语谓词性主语句研究概观》，関西外国語大学『研究論集』第101号：pp. 183-192。
- 吉田泰謙（2016）《陈述性主语的形成机制及其语法地位》，《语言教学与研究》第5期：pp. 40-54。
- 吉田泰謙（2017a）《细说两类谓词性主语的句法语义差异》，上海师范大学《对外汉语研究》编委会编《对外汉语研究》第十六期：pp. 22-46。北京：商务印书馆。
- 吉田泰謙（2017b）《略谈现代汉语谓词性主语句的定义及其范围》，関西外国語大学『研究論集』第106号：pp. 45-59。
- 吉田泰謙（2019a）《现代汉语谓词性主语句的句法及语义特点》，関西外国語大学『研究論集』第109号：pp. 205-223。
- 吉田泰謙（2019b）《指称性主语和陈述性主语在有界无界上的对立》，日本中国語学会『中国語学』266号：pp. 156-173。
- 李大勤（2003）《“XP（的）VP”及相关问题研究》。北京：语文出版社。
- 李德津、程美珍编著（1988）《外国人实用汉语语法》。北京：华语教学出版社。
- 刘月华等（2001）《实用现代汉语语法》（增订本）。北京：商务印书馆。
- 吕叔湘主编（1980）《现代汉语八百词》。北京：商务印书馆。
- 王莉莉（2000）《“指称性主语、陈述性主语”分类质疑》，《山西大学学报》（哲学社会科学版）第1期：pp. 91-95。
- 吴继光（2003）《现代汉语的用事成分与工具范畴》：pp. 96-151。武汉：华中师范大学出版社。
- 邢福义（2001）《汉语复句研究》。北京：商务印书馆。
- 袁毓林（2002）《汉语话题的语法地位和语法化程度——基于真实自然口语的共时和历时考量》，《语言学论丛》第二十五辑：pp. 82-115。北京：商务印书馆。
- 袁毓林（2015）《汉语意合语法的认知机制和描写体系》，日本中国語学会『中国語学』262号：pp. 1-30。
- 张德岁、张国宪（2013）《谓词性主语与谓词性宾语语义特征的不对称性研究》，《语言科学》第6期：pp. 618-630。
- 张黎（2016）《汉语意合语法的句法机制》，中国語文法研究会『中国語文法研究』2016年卷：pp. 1-21。京都：朋友書店。
- 郑怀德（1984）《动词性主语句的谓语》，中国语文杂志社编《语法研究和探索（二）》：pp. 78-87。北京：北京大学出版社。
- 朱德熙（1982）《语法讲义》。北京：商务印书馆。

[日本語・英語]

- 朱德熙著 杉村博文、木村英樹訳（1995）『文法講義—朱德熙教授の中国語文法要説—』。東京：白帝社。

- 杉村博文 (2015) 「袁毓林『汉语意合语法的认知机制和描写体系』をめぐって」, 日本中国語学会『中国語学』262号 : pp. 31-56。
- 刘月华等著 相原茂監訳 片山博美等訳 (1991) 『現代中国語文法総覧 (上・下)』。東京 : くろしお出版。
- 呂淑湘主編 牛島徳次、菱沼透監訳 (2003) 『中国語文法用例辞典——《現代漢語八百詞増訂本》日本語版 (改訂版)』。東京 : 東方書店。
- 吉田泰謙 (2019c) 「中国語『叙述性』主語文の意味的・構造的特徴と形成過程—『叙述性』主語の文法的位置づけをめぐって—」, 関西外国語大学御殿山語用論研究会『御殿山語用論研究論集』第5号 : pp. 41-60。
- 吉田泰謙 (2021) 「有界性からみる指称性主語と叙述性主語」, 関西外国語大学御殿山語用論研究会『御殿山語用論研究論集』第7号 : pp. 51-70。
- 吉田泰謙 (2022) 「条件文が叙述性主語文になり得る条件に関する一考察」, 関西外国語大学御殿山語用論研究会『御殿山語用論研究論集』第8号 : pp. 33-47。
- Chao, Yuen Ren (赵元任) (1968) . *A Grammar of Spoken Chinese*, University of California Press, Berkeley. 吕叔湘 节译本《汉语口语语法》, 北京 : 商务印书馆, 1979年。

(よしだ・ひろあき 英語国際学部教授)